2016 年 6 月 10 日

児童養護施設における児童間性暴力を考える集い

１．テーマ

「児童養護施設における児童間性暴力対応プロトコル策定の道程」

～ 実践知・経験知のプログラム化に関する取り組み ～

２．趣旨

児童養護施設等（以下、「施設」）において、児童間性暴力は深刻な課題である。施設においては、性教育、加害児への治療プログラムなど、様々な取り組みが行われている半面、性暴力事案が発生した際の効果的な対応方法は構造化されていないのが現状である。マニュアルの形骸化も顕著であり、十分なアセスメントがないまま加害児童を児童自立支援施設等へ措置変更するといった表層的解決にとどまっている。

そこで、大学の研究者と施設で中核的役割の担っている職員が研究チームを構成し、施設内に編成されたグループと協働して、施設独自のプロトコル（性暴力事案は発生した際の対応策を記したチャート）を策定するプログラムを実施している。

プロトコルは、ロールプレイ・振り返り・グループ討議を中心としたワークショップを通じて策定され、各施設の持つ”強み”を生かしたものを策定しようと考えている。

これまで、沖縄県内においては、愛隣園・美さと児童園・ならさにおいて、プロトコルを策定しようとしており、今回は３園の取り組みを紹介するとともに、本プロトコルの意義や課題について議論したい。

３．主催

「児童養護施設における児童間性暴力対応プロトコル」共同研究グループ

代表者　関西福祉科学大学社会福祉学部　教授　遠藤　洋二

４．日時・場所

2016 年 7 月 11 日（月）　13：30～16：30（受付 13：00～）

沖縄県総合福祉センター　東棟　４０２号室

〒903-8603　沖縄県那覇市首里石嶺町 4 丁目 373-1　電話番号：098-882-5811

５．参加費

無料

６．対象者

・児童養護施設・児童自立支援施設等、児童福祉施設関係者

・児童相談所・市町村等、児童福祉関連部門職員

・社会福祉協議会職員

・医療、教育、司法関係者

・その他社会福祉関係者

※なお、参加者の自由な議論のため、今回の集いについては、参加を福祉関係者のとどめ、メディア等への情報提供も行いません。

７．プログラム

第１部：プロトコルの意義・策定のプロセスの報告

コーディネーター	関西福祉科学大学　遠藤洋二	
報告者	愛隣園	上江洲　肇
	美さと児童園	糸満　英子
	ならさ	砂川　忠寛
	神戸市立若葉学園	永田　政之
	神戸市こども家庭センター	篠原　拓弥

第２部：意見交換会：児童間性暴力にどのように向き合うのか

助言者	沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科准教授	比嘉 昌哉
指定討論者	美さと児童園施設長	宮城　光宏
	児童相談所関係者	調整中
司会	関西福祉科学大学社会福祉学部教授	遠藤　洋二

８．申し込み

参加者名・所属・職名を記したメールをお送りください。(yendo@tamateyama.ac.jp)

参加申し込みは、原則、メールでお願いします。その際、件名に「集い参加申し込み」と記載してください。

なお、メールでの申し込みが困難な場合は、上記の内容を記したFAXでお申し込みください。(072-942-2951)

９．問い合わせ先

遠藤　洋二
関西福祉科学大学社会福祉学部
〒582-0026　柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号
TEL& FAX　072-942-2951
e-mail　yendo@tamateyama.ac.jp